



広報

かつやま

Katsuyama City Newsletter

9月号

No.563

平成14年9月12日発行

CONTENTS

勝ち山夏物語

子ども議会

出会い ふれあい

Hot・話題

収穫の夕景

(北郷町檜曾谷)



勝山夏まつり

夏物語

「おとなから子どもまで、みんなが参加するまつり」。

8月13日から16日の「勝山夏まつりウィーク」は、まさにそんな4日間でした。

「がちやまワッショイ」などが開催された14日を中心に、「大師山たいまつ登山」や「かちやまちよつちん登山」、「納涼盆踊り大会」などのイベントも各地区で開催されました。期間中、市内はまさに「祭一色」。夏まつりの勝山に、一人ひとりが主役の「夏物語」がつけられました。

8月13日~16日
勝山夏まつりウィーク

亦文化

躍動 伝統

楽しむ



40℃ (フォーティーセルシアス)



旭町体育協会
チーム・ザ・夏KA舞BU喜KI



はっするず



遅羽舞鼓隊



陀・テンブラーズ



CHAMER-S (チャマー-エス)



Funk the children



鹿谷YOSAKOI
いっちょやったる会



勝山 Flame Soul (炎の魂)



木部っ子ダンサーズ2002

8月14日 勝ち山輪舞2002 かちやまワッショイ

メインイベント
勝ち山輪舞2002
かちやまワッショイ。
色とりどりの衣装を身にまとった
約900名の出演者たちは、高鳴る
胸の鼓動を抑え、出番を待ちます。
「いよいよ演技開始！」
約4000人が詰めかけた会場は、
ダイナミックに躍動する出演者と
観客の心がひとつになる
瞬間をむかえます。



旭町2丁目子ども会



さくらちらず



高尾



閻魔組



鹿谷童子



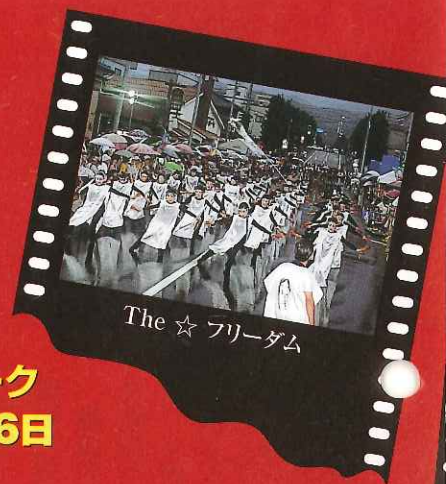
ざわやか大学民踊クラブ



勝山市勤労婦人センター
蝶よ花よ組

勝ち山 夏物語

勝山夏まつりウィーク
8月13日~16日



The ☆フリーダム



8月13日
大師山たいまつ登山

炎

赤々と燃えるたいまつを手
道に、日が暮れた山
道を歩く約200名の参加者。
普段とは違う登山に、おと
なも子どももドキドキ！ワ
クワク！ちよびり怖くて泣
き出す子も……。さあ！た
いまつの炎とともに、勝山夏
祭りウィークの始まりです！

8月14日
まちなかまるごと
おまつり広場

賑わい



ヨー釣りに金魚すくい、く
だおれ市やフリーマーケットが立
ち並び、にぎわいを見せた「まちな
かまるごとおまつり広場」。会場は「い
らっしゃいーいらっしゃいー」の威勢
のいい声が響いていました。
また、夜はフィナーレの花火が夜
空を染め、メインイベントに花を添
えました。

8月14日
恐竜みこしレース



約100kgの「恐竜み
こし」を担いでタイム
レース。参加チーム数は
10チーム。重いみこしを
担いでいるとは思えないほ
どの全力疾走と、対戦す
る両者の競り合いは迫力
満点！出走者はもちろん、
応援する人も思わず力の
入るレースが繰り広げら
れました。

恐竜みこしレース成績

- 優勝 ワッチョメンズ
- 準優勝 (社)勝山青年会議所Aチーム がむしやら一ず
- 第3位 バロン・ドール

輪

8月15日・16日
納涼盆踊り大会



8月16日
かち山ちようちん登山

疾走

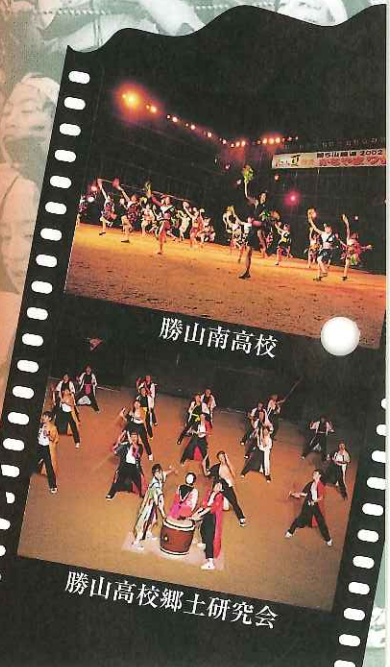
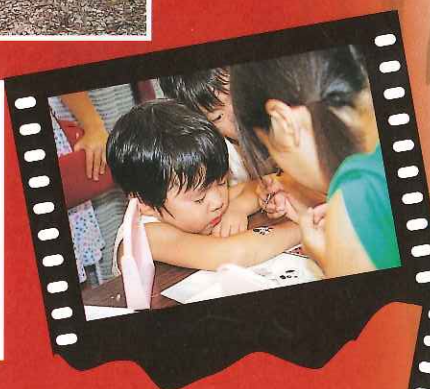


灯火

ちようちんのともしびと
ともに、勝山夏まつ
りウィークはフィナーレを
迎えます。この夏の思い出
を胸に、約400名の「ち
ようちん行列」は、山頂に
向かつて赤々と続きました。

勝ち山輪舞2002かちやまワッショイ入賞チーム

- ふるさとルネッサンス大賞 勝山高校郷土研究会
- かちやま大賞 The☆フリーダム
- チャマゴン大賞 勝山南高校
- チャマリン大賞 鹿谷童子
- 審査員特別賞 40℃(フォーティーセルシアス)
- さわやか大学民踊クラブ
- 勝山市勤労婦人センター 蝶よ花よ組



勝山南高校

勝山高校郷土研究会

小中高校生が市政に質問

初の子ども議会



市内の小中高校生による初めての「子ども議会」が、8月21日に勝山市議会の議場で開かれました。各学校の代表として出席した「子ども議員」らは、学校や地域で調べたまちづくりや環境問題などについて、壇上で堂々と質問。山岸市長をはじめ関係部課長らが、それぞれの質問に対して一つひとつ丁寧に答えました。

議会の模様は、市内LANによるテレビ会議システムを利用して、市役所1階と教育福祉会館ロビーで放映され、一般の市民にも公開されました。

市では、今回子どもたちから出された質問内容や提案については、実際の市議会と同様、可能なものについては具体的な実現に向けて取り組むとともに、今後の市政運営の参考にしていくことになっています。

子ども議員

(発表順)

- 田中 恭平さん 勝山南高等学校 3年
- 上山 千夏さん 勝山南部中学校 3年
- 谷 泉美さん 平泉寺小学校 6年
- 畔川 莉加子さん 成器南小学校 6年
- 小林 史歩さん 成器西小学校 6年
- 平沢 夏規さん 村岡小学校 6年
- 山内 菜摘さん 三室小学校 6年
- 川原 一朗さん 勝山高等学校 3年
- 松澤 亮太さん 勝山中部中学校 3年
- 有田 慎司さん 野向小学校 6年
- 境井 美香さん 荒土小学校 6年
- 山内 将司さん 鹿谷小学校 6年
- 笠川 裕史さん 北郷小学校 5年
- 廣田 智愛さん 勝山北部中学校 3年

河川の環境保全について



田中 恭平さん

河川の美化環境を整えるために、ごみを回収したり、取り締まったりできないでしょうか。九頭竜川上流の勝山市が中心となって、環境保全に力を入れてはどうでしょうか。

答 市では今年から九頭竜川流域6カ所で水質の定点観測を始めるなど、河川環境の保全と見直しに力を入れています。また、勝山警察署などとパトロールチームを編成し、指導・広報と不法投棄物の撤去を行っています。

ごみ収集と道路の整備について



上山 千夏さん

ごみの収集回数を増やせないででしょうか。また、登下校時に交通事故が起きるので、一方通行や時間規制をしてはどうでしょうか。

答 ごみの細かな収集は経費もいっそう増えることとなります。県内のほとんどの市町村が週2回を基本としており、勝山市も現体制で収集業務に当たりたいと思います。一方通行や時間規制は、経費もかからず安全対策として有効な手段なので、検討したいと思います。



白山禅定道の整備と

健康のまちづくり



滝 垣 泉美さん

禅定道を白山の頂上まで登れるように整備してほしい。法恩寺山と平泉寺をつなぐ山道を、ウォーキングコースにしてはどうでしょうか。

答 登山道の未整備区間については、

国や福井県、石川県なども協議して、実現に向けて着実に努力していきます。これまでに、登山道整備のほか「中の平」周辺で遊歩道等の整備を行い、ウォーキングやキャンプなどを楽しめるようにしています。

旭公園をもっと

すてきにするために



畔川 莉加子さん

旭公園にごみ箱を設置し、箱プランクのあとに恐竜型のミニ滑り台を設置してはどうでしょうか。ローラーすべ

り台に敷物を準備できないでしょうか。

答 公園をきれいにしようという心がけてくれる人のためにも、ごみ箱を設置したいと思います。また、意見を参考に新しい遊具を設置したいと思えます。ローラーすべり台の敷物については、安全対策も含め実態をよく見て考えたいと思います。

環境にやさしい

街づくりについて



小林 史歩さん

太陽光発電を使って、市内の学校や病院などで照明に使ったり、街灯などに利用できるようなといいです。環境にやさしいまちづくりのためにも、市内での太陽の光を利用した発電について考えてほしい。

答 市では一般家庭用の太陽光発電設備を設置した人に補助をしています。市としての設備は、積雪の影響などについても研究しながら、学校などの公共施設に設置することに取り組みたいと思います。

登下校の

バス通学について



平沢 夏規さん

家から学校まで3km以上でもバス通学できない人がいます。時刻表を調整したり、スクールバスの利用を検討できませんか。

答 もっと利用しやすいように、登下校にも都合のよい時間を設定できないか、スクールバスあるいは乗合タクシーなど、ほかの交通手段が考えられないか、今後一生懸命取り組み、交通弱者にもやさしいまちづくりをすめたいと思います。

児童センターの

設置について



山内 菜摘さん

三室小学校には、下校しても家にだれもいない人が全校の35%います。遅羽町に児童センターができれば、みん



なで楽しく活動していきたいです。

答 市だけで建設するのは財政的に困難な状況です。市では現在、福井県に対して遅羽地区の児童館建設に対する国の補助金が受けられるようお願いしています。遅羽公民館横に建設して、公民館と連絡できるようにしたいと考えています。

勝山の人口の増加

または定着について



川原 一朗さん

安価で購入できる家の提供や、独身者の結婚の場の提供など、人口流出に対する手立てを検討してほしい。

答 自然環境を財産に、企業誘致や定住化政策につなげていかなければならないと思います。企業誘致のための企業への助成制度や、定住促進のための住宅新築補助金などを実施しています。公共交通機関の存続など、通勤環境の向上は不可欠です。このほか、子育て支援なども行っています。

勝山の魅力を

アピールするには



松澤 亮太さん

勝山の良さを知ってもらうために、各地に勝山に関する店を作ったり、勝山のCMを制作したり、持続したアピールが必要だと思います。

答 市政要覧の刷新やコミュニケーションデザイン作成など、イメージアップを図っています。各地に店を作ることは経費や費用対効果の面で検討が必要ですが、今後、勝山市エコミュージアムを推進する中で、魅力ある個性と特徴を全国に発信していきたいと思えます。

小学校の存続と魅力

あるまちづくりについて



有田 慎司さん

児童数は減少しているけど、これが

らも野向小学校を存続してほしい。転出者を引きとめる魅力あるまちづくりについて、市の考えを聞かせてください。

答 高速のコンピュータ回線ですべての学校や公民館などを結ぶなど、少人数による不都合を少しでも改善できるよつこれからも努力していきます。みなさんもしょよになって、住みたくなる魅力あるまちづくりをめざして、まず自分から踏み出してほしいと思います。

文化巡りウォーキング

コース、サイクリングコースづくりについて



境井 美香さん

荒土町にはたいせつな文化がたくさんあることがわかりました。文化巡りウォーキングコースとサイクリングコースを作ってはどうか。

答 荒土小学校で取り組んでいるふるさとの文化探しは、エコミュージアムの出発点になるものです。地区の人だけでなく、市民や市外の人にも分かりやすいように案内標識などを設置



子ども議会
 を終えて



議長
 川原一朗さん

めったにできないことなので、楽しい体験ができました。議長のお話の感触がよかったです。小学校から高校までの児童生徒がこういう形で集まることはいいことだと思います。市長さんの答弁は理解しやすい言葉で説明してもらい、わかりやすかったです。



副議長
 上山千夏さん

自己紹介と発表のときに緊張しました。副議長という重要な役を受けることになって責任を感じましたが、壇上では特に緊張はしませんでした。小学生の意見がしっかりしていたので、すごいと思いました。議事の進行のタイミングをサポートしてもらえてうれしかったです。

答 今年の夏祭りのかちやまワッショイでは、見ている人に感動を与え、踊り手と観客の気持ちが一つになりました。もっとたくさんの方々が参加できるように工夫を凝らして、もっともつと盛り上がるように来年以降も積極的に取り組んでいきます。



山内将司さん

して、ウォーキングコース・サイクリングコースにしていきたいと考えています。

勝山の祭りについて

答 河川環境をよみがえらせ、遊べるような川になるよう努力しています。現在、岩屋川のせせらぎを生かした豊かで美しい自然とふれあいを体験できる環境整備をしています。川遊び、大鷲滝などの散策路、自然観察園などを造って、15年4月から使用することが出来ます。

勝山だからできる、川を生かした安全でみんなが楽しめる環境や施設を作ってはどうか。



笠川裕史さん

勝山の豊かな自然を生かすことについて

答 開発と環境保全のバランスを考えた方がいいかもしれません。長尾山総合公園やスキージャム勝山の開発の前にも、環境影響調査を行った上で開発を実施しています。これからも、自然との共生を21世紀における勝山市の大きなテーマとして心がけていきたいと考えています。

子ども議会開催に当たり、勝山ライオンズクラブのご協力をいただきました。

観光のための道路も開発され、豊かな緑や森林が壊されていくと思います。開発によって起こる自然への影響の対策はどのように考えていますか。



廣田智愛さん

自然保護と開発について

平成14年度 勝山市表彰式

市制施行記念日の9月1日、市教育福祉会館で「勝山市表彰式」が行われました。地方自治や産業振興など各分野で功績のあったかたがたに、山岸市長から表彰状が渡されました。表彰を受けられたのは次のみなさんです。(順不同・敬称略)



成立に尽力し、農家後継者問題解消に寄与された。

仲村 博(69) 〓 遅羽町大袋

北山大袋土地改良区委員として土地改良基盤整備事業に尽力し、農業経営の近代化に寄与された。

山岸 英 男(60) 〓 元町2丁目

勝山商工会議所常議員として、市の商工業の発展と地域振興に寄与された。

松崎 洋 一(57) 〓 村岡町柝神谷

勝山商工会議所常議員として、市の商工業の発展と地域振興に寄与された。

廣瀬 好 行(52) 〓 旭町1丁目

建築業組合役員として、市の建築業発展と後継技術者の養成に寄与された。

平泉寺宮農組合 〓 平泉寺町平泉寺

近代的農業生産団体として、地区での農業経営を集団的・計画的に推進し、農業の近代化に寄与された。

福祉・保健功労

中野 清 子(73) 〓 郡町2丁目

民生・児童委員として、要保護者の自立更生に尽力し、地域福祉の向上に寄与された。

産業功労

高尾 茂 市(73) 〓 野向町牛ヶ谷

結婚相談員として農家後継者の縁組

前田 久 江(66) 〓 荒土町伊波

保健推進員として、母子・高齢者をはじめとする市民の健康づくりに尽力し、保健福祉の向上に寄与された。

松村 信 子(60) 〓 長山町2丁目

民生・児童委員として、要保護者の自立更生に尽力し、地域福祉の向上に寄与された。

酒井 昭 子(59) 〓 遅羽町大袋

民生・児童委員として、要保護者の自立更生に尽力し、地域福祉の向上に寄与された。

消防交通功労

丹後 俊 夫(64) 〓 荒土町田名部

消防団員として献身的な活動により防火思想の普及、災害防止に努め、市民生活の安全に寄与された。

笠松 輝(62) 〓 毛屋町

消防団員として献身的な活動により防火思想の普及、災害防止に努め、市民生活の安全に寄与された。

社会公益功労

太田 稟平治(76) 〓 芳野町2丁目

大相撲の地方世話人として尽力し、郷土力士の育成と市民の郷土愛の醸成に寄与された。

山内 高 嘉(64) 〓 東京都

市の「ふるさとルネッサンス基金」に多額の寄附をされ、ふれあい市民との交流事業推進に貢献された。

4・8フレンズ

道路などの環境美化に尽力し、市民の範たる行動をとるにより社会貢献された。

総合行政審議会委員を委嘱 行財政改革大綱見直しなど審議

勝山市総合行政審議会の新しい委員を8月19日に委嘱しました。同審議会には、市の重要課題に関して市長の諮問に応じるほか、市の行財政や市民意識の動向などについて意見を述べていただきます。

8月19日に開催された第1回目の会議では、委嘱書が交付されたあと、市町村合併に関する意見交換が行われました。今後は、勝山市行財政改革大綱

の見直しに関する諮問について、答申内容をまとめる予定です。

同審議会の任期は2年で、会長に松村悠紀夫さん、会長職務代理者に石畝千恵子さんが選ばれました。

総合行政審議会 (50首順、敬称略)

石畝千恵子、岩岡千賀子、梅田美千代、岸 康弘、佐々木隆也、白木富貴子、滝川裕司、竹内範囲、竹島多恵子、野坂紀夫、羽生英昭、廣田与三次郎、藤澤七郎兵衛、松村悠紀夫、丸屋仁志

「えちぜん鉄道株式会社」 発足へ

早期運行めざし準備

8月23日に福井商工会議所ビルで、京福電鉄越前線沿線の9つの自治体と商工会議所、市民団体、民間企業など37団体の代表が集まり、新鉄道会社設立発起人会議を開催し、名称と株式の引受数などを決定しました。

新鉄道会社の名称は「えちぜん鉄道株式会社」とし、発起人代表には福井市長を選びました。勝山市からは山岸市長のほか、勝山商工会議所の久保善夫会長と勝山市電車利用促進会議の滝川裕司会長が発起人として入っています。

す。また、新会社の取締役は自治体の首長と商工会議所の会頭ら14人、監査役に2名が決定しました。

発起人会の決定事項をもとに、会社設立に必要な定款認証を公証人役場に提出し、現在会社設立のための準備をすすめています。今後、取締役会を開催し、設立登記を経て正式に新鉄道会社が設立する運びとなります。（9月9日現在）

京福電鉄からの事業譲渡認可申請の期限が10月21日に迫っていますが、資産譲渡などについては、県が中心となつて課題解決に当たっています。



市民会議寄付金 1000万円に

勝山市電車利用促進会議が市区長連合会の協力の下に市民から募った新鉄道会社設立のための寄付金は、最終額が1000万円になりました。お金は各地区の区長を通じて集められ、総件数は5559件でした。

集められたお金は、促進会議として新鉄道会社に出資し、商工会議所で集められた2000万円と同様に運営支援をしていきます。

ご協力ありがとうございました。

広報8月号の同記事で「区長連合会」とあるのは「電車利用促進会議」の誤りでした。お詫びいたします。

1日フリー切符の 有効期限が近づいています

平成14年4月から発行している「京福電車と地球を愛する会」会員証（1日フリー切符）の有効期限は本年10月20日までです。期限内に使用されますよう、ご案内いたします。

電車と地球を愛する会

問 地域交通課（☎内線371番）

避難・救助・復旧せよ！

総合防災訓練

勝山市と18の機関・団体による大規模な総合防災訓練が、9月7日に村岡小学校周辺で行われました。水防工法や各種ライフラインの復旧など、30項目以上に及び訓練に、地元住民や関係者ら約350人が真剣に当たっていました。

地震発生！

倒壊家屋からの救出作業は、地元の消防団員らが中心に担当。家屋内に閉じ込められた人を救出し、担架で救護所に運んでいました。また、応急処置や初期消火では、消防署職員に指導を受けながら地元地区の住民が講習を受けました。

市内では7月の台風で地すべりが発生するなどの被害が起きており、今後も関係機関や市民のみなさんとともに、災害時に備え万全を期していきます。



青春ing



“ブツシヨイ!”をきっかけに……

西山 理 恵さん(26) 〓荒土町別所〓

8月14日に開催された「勝ち山輪舞2002 かちやまブツシヨイ」の実行委員を務めた西山理恵さん。

米国のカリフォルニアに2年間の留学経験をもつ西山さんは、来年の「かちやまブツシヨイ」に「外国人のチームが出場できたら」と夢を描いています。「長い間、勝山を離れていたためか、いいところがすぐよく見えます。今の子どもたちに、もっと勝山の魅力を

体感してもらえれば、おとなになってからも勝山に住みたい人が増えてくるんじゃないかな」と、西山さん。そういう意味で今回の盛り上がりは、「いいきっかけになった」ともいいます。

「みんなが勝山のことを好きになってくれるような企画にはぜひ協力していきたい」と、目を輝やかせて話す西山さんです。

出会い

ふれあい

焼きまんじゅう屋再開に目を細め

前田 小 春さん(87) 〓本町2丁目〓

「今年インフルエンザにかかるまでは、これといった病気になることがない」という前田小春さんは、10月に88歳の米寿を迎えます。少し足腰が弱くなったそうですが、「押し車さえあれば杖よりも楽」で、外出もそれほど苦にならないといいます。

勝山で生まれ育ち、若いころからいるんな商売をしてきたという小春さん。手作りのキャンディー屋、貸しボート屋、焼きまんじゅう屋と、内容も多彩です。中でも焼きまんじゅう屋はたくさんの人たちに親しまれ、40年ほど続いたそうです。お店は10年ほど前に閉店しましたが、今年5月に二男の

勝一さんが焼きまんじゅう屋を再開。「熱くてよくやけどをした」という小春さん直伝のあんこ作りも復活し、昔の味がよみがえりました。

新しいお店には、「電車で通っていた高校時代によく食べた」という人や、「昔と味は変わっていないんですか?」と尋ねる人など、今も小春さんの「懐かしい味」を求めて来店する人が多いそうです。

「子どもに恵まれて」と話す小春さんは、牛乳と晩酌は欠かさないという独自の健康法を実践して、今日も息子さん夫婦の焼きまんじゅう作りを温かく見守っています。

すてきに人生

